

防衛省・自衛隊が行っている地域社会・国民とのかかわりについて、国民の理解と協力、市民生活の中での活動・社会に貢献する活動、地方公共団体などによる自衛隊への協力、様々な広報活動について概要を記述します。

国民の理解と協力

- 防衛省・自衛隊の様々な活動は、防衛省・自衛隊のみで行えるものではありません。国民一人ひとり、そして地方公共団体などの理解と協力があってはじめて可能となります。防衛大綱は、各種事態において自衛隊が的確に対処するため、地方公共団体、警察・消防機関など関係機関との連携を一層強化することとしている。
- 民生支援として様々な協力活動を行うとともに、防衛施設の設置・運用が周辺住民の生活に及ぼす影響をできる限り少なくするように努めている。こうした活動は、地域社会・国民と自衛隊相互の信頼をより一層深めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献をしている。

市民生活の中での活動や社会に貢献する活動

- 自衛隊は、地方公共団体や関係機関などからの依頼に基づき、国民とかかわる様々な分野で、民生支援活動を行っている。

これらの活動は、国民と自衛隊の相互の信頼を一層深めるものでもあり、日頃から国民生活に役立っているという誇りと自信を隊員に与えている。

- 陸自は、今なお全国各地で発見されている不発弾処理にあたっており、平成27年度の実績は約1,392件で、沖縄県での処理量が全体の約47%を占めている。
- 海自は、機雷などの除去・処理を行っており、平成27年度の処理実績は約1,832個である。
- 全国の駐屯地や基地を部隊活動に支障のない範囲で開放するなど、地域住民との交流に努めているほか、各種の運動競技会などにおいて輸送などの支援を行っている。
- 一部自衛隊病院などにおける一般診療、離島の救急患者の緊急輸送など地域医療を支えている。

地方公共団体などによる自衛隊への協力

- 厳しい募集および雇用環境の中、質の高い人材を確保し、比較的若い年齢で退職する自衛官の再就職を支援するためには、地方公共団体や関係団体の協力が不可欠である。
- 自衛隊の駐屯地や基地は、地域社会と密接なかかわりを持っており、自衛隊が教育訓練や災害派遣など各種の活動を行うためには、地元からの様々な支援・協力が不可欠である。
- 国際平和協力業務などで国外に派遣される部隊は、関係機関から派遣にかかる手続きの支援・協力を受けている。

様々な広報活動

1. インターネット、パンフレットなど

- ・防衛省・自衛隊の活動は、国民の一人ひとりの理解と支持があって初めて成り立つものであり、わかりやすい広報活動を積極的に行い、国民の信頼と協力を得ていくことが重要である。
- ・公式ホームページ、動画配信やSNSなど、インターネットを活用した広報に取り組んでいる。またパンフレット、広報ビデオおよび広報誌「MAMOR(マモル)」の編集協力、報道機関への取材協力など、正確な情報を幅広く適時に提供するように努めている。
- ・防衛省・自衛隊の取り組みについて国際社会の関心の高まりも踏まえ、英文広報パンフレット「Japan Defense Focus」を毎月発行し、諸外国の人々にも理解を得るための努力を行っている。

2. イベント・広報施設など

- ・防衛省・自衛隊は、陸自の富士総合火力演習や海自の体験航海、空自の展示飛行や体験搭乗など、自衛隊の現状を広く国民に紹介する活動を行っている。
- ・全国に所在する駐屯地や基地などでは、部隊の創立記念日などには、装備品の展示や、部隊見学などを行うとともに、地元の協力を得て、市中パレードを行っている例もある。
- ・自衛隊記念日記念行事の一環として、観閲式、観艦式、航空観閲式を行っている。



巡閲する安倍総理



戦車部隊



不発弾処理を行う陸自隊員



国旗に敬礼(音楽まつり)



演奏(音楽まつり)



空自見学



海自艦艇



空自ブルーインパルス



機雷処理を行う海自隊員



太鼓(音楽まつり)



歌唱(音楽まつり)



海自見学



大学生の陸自サマーツアー



富士総合火力演習